

平成21(2009)年5月9日第6号

学校だより

ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

新型インフルエンザの対応策

新型インフルエンザによるヒューストン地域の現地校の休校が5日現在20校(総領事館からの情報)になったそうですが、8日現在、全て休校措置は解除され再開されています。しかし、補習校では今回のような状況に対して講ずる対応策について、先週皆さまにお知らせしましたが、再度その骨子だけをお知らせします。

ヒューストン日本語補習校が休校措置を講ずる場合

- ① 補習校に在籍する園児、児童生徒に新型インフルエンザの感染の疑いがあるものが出た場合。
- ② 借用校(ウエストチェスター校)が休校した場合。
- ③ 校舎の管轄 School District である Spring branch ISD が、School District 全体を休校とした場合

補習校の園児、児童生徒が補習校登校を控える場合

- ① 通学する現地校が休校措置を講じた場合、その休校期間は補習校への登校を控えてください。
- ② 上記①に該当する園児、児童生徒の兄弟姉妹に関しましても同様に補習校登校を控えて下さい。
- ③ 園児、児童生徒、あるいはご家族の方に感染の症状が見受けられる場合は、登校を控えてください。医師の判断結果をもって、新型インフルエンザの感染の事実が無いことが確認できたときのみ登校願います。
- ④ 感染が確認された場合には速やかに補習校までご連絡ください。
以上登校を控えていただく場合の該当園児、児童生徒には出席停止とし欠席扱いにはいたしません。

以上、よろしくご理解とご協力をお願いいたします。

尚 補習校では先週の土曜日、各教室にティッシュと消毒薬を配置しました。ただ、消毒薬の売り切れが各店で見られたため、入手できる限りを買い求めましたが全教室に配置できず、2教室に一つの配置としました。今週は全教室に配置しました。ご家庭でも石鹸での手洗いなど予防にご留意ください。

「備えよ常に」です。

第1回クラス委員会・PTA総会

5月2日、第1回クラス委員会・総会が図書室で開催されました。ご多忙の中、ご出席いただきましてありがとうございました。

これら委員会・総会の開催あたり、今村前会長さんをはじめ、旧役員の皆様は新役員の方々に時間をかけ、引継ぎをなされました。松永新会長をはじめ新役員は各々自分の担当する内容について、十分な確認と修正等を加えていただきました。大変細かい内容にまで審議され、遺漏の無いようにしていただきました。真にありがとうございました。

クラス委員会・総会での協議事項等につきましては、別紙の「PTAだより」にその詳細が報告されていますのでご覧になってください。ただ、総会の際に川瀬運営委員長からファンドレイジングのお話がありました。本校の健全な財政状態維持のためのものであり、今後皆様にご協力をいただきたく、お願い申し上げます。勿論、学校におきましても経費の節減に努めたいと思っています。

PTAの活動は、子どもたちの学習に対する支援活動であり、保護者としての在り方学習などを学ぶ場でもあります。また、校内パトロールにおきましても、子どもたちの安心安全を維持するための活動なのです。

運営委員会は、補習校の運営全般にわたり関わりを持ち、子どもたちの教育環境整備から人事、財務、広報等幅広く教育経営を支えてくださっています。

学校当局の教育実践としましては、先生方は子どもたちにより良い教育の提供と確かな学力の定着、発展を期すべく授業改善や児童生徒理解を深化させ、夢と希望、将来での進路実現に向けて尽力し続けると言うこととなります。見方を転ずれば、この三者は「三本の矢」のたとえになるかと思えます。今後ともよろしくお願いいたします。



「生き方在り方」進路指導③

日本では従来進路指導と言ったときには、小学校や中学校、高等学校、大学を卒業する際に、次のステップへの進路の選択指導を意味しました。つまり、次の段階、言葉を換えれば、学校校種間における接続を如何にしてスムーズに指導するかが進路指導の大切な内容でした。故に、出口指導と称されることにもなったのですが、安定した変化の少ない産業や社会状況であれば、この指導はそれなりに効果を上げていくことが出来たのです。しかし、急激な環境（産業構造や社会構造など）の変化に加え、社会の成熟化や生活環境の変化などにより、子どもたちの生活・意識が変容し、その結果が若者のフリーター志向の広がりや無業者の増加、高水準で推移する早期離職者となって大きな社会問題となってしまいました。学校段階から社会への移行を巡る課題として次のことがあげられています。

- ★ 経済のグローバル化が進展し、コスト削減や経営の合理化が進む中、雇用形態等も変化し、求人著しい減少、求職と求人の不適合の拡大
- ★ 若者の勤労観、職業観の未熟さ、職業人としての基礎的資質・能力の低下等。

上掲囲み記事の状況から、若者にとって将来の生活や社会人・職業人としての生き方在り方を描くことがかつてなく困難になっていると考えられています。

また、一般的な子どもたちの生活・意識の変容として、次のような事柄が列挙されます。

- ★ 精神的・社会的自立が遅れ、人間関係を構築出来ない。進路を選ぼうとしない子どもの増加
- ★ 高等教育機関への進学割合の上昇に伴うモラトリアム傾向の上昇。進学も就職もしなかったり、進路意識や目的意識の希薄さから、「とりあえず進学」の若者の増加が指摘されている。

本校の児童生徒たちは月曜日から金曜日は現地校で学び、土曜日は補習校で学んでいますが、大変な学習量であると思います。その学習姿勢が受け身でなく、夢や希望の実現を目指し、向上心をもち意欲的に生きていくための教育を着実に実践したい。廊下の掲示板には一人一人の夢や希望、目標が貼られています。その実現に向けての励まし方や努力の仕方、自分の能力、個性をよりよく理解し、伸長させる手立



てなど次回掲載させていただきます。

携帯電話について

携帯電話は今や仕事上にも日常生活をおくる上でも必需品になっています。以前は、あれば便利という程度が無くてはならないものになってしまっています。

そして、その所有者も段々と低年齢化しているようです。それにつれて携帯電話のもたらす便利さと弊害がよく話題となっています。

便利さについては、説明の必要がないとも言えますが、今問題とすべきは弊害についてです。

私が日本で校長をしていたある中学校では、携帯電話を「持たない」「持たせない」学校に「持ち込ませない」運動を展開していました。理由はいくつもありましたが、要は中学生に必要でないというものでした。具体的には、メール交換を昼夜を問わず、授業中も家に帰ってもして、睡眠不足、学習時間の減少となり怠学傾向になったこと。出会い系サイトにつないでよくない行動に陥ったこと。チェーンメールを回したこと。莫大な通話料金を請求されたこと等々。

今、本校でも中学部高等部で以上のことが話題になっています。校内での携帯電話の使用については、殆ど不要であると言えます。保護者からの児童生徒への連絡は補習校に連絡していただければ、十分に子どもに伝達されます。

もし、これから子どもに携帯電話を持たそうとお考えの方は持たすことの是非について十分に考慮いただきますようお願いいたします。その内、学校としてのガイドラインも示したく思います。

補習校は子どもたちの国語力を向上させると共に勉学への意欲を向上させ、将来にわたる自学、自習の志を養うところであると私は理解しています。

◆パトロール当番予定表 5月16日◆

～よろしくお願ひします～

	学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー	小3	33	野澤理紗
		2	35 水上智貴
		3	37 中村もり
		4	38 久和野恭平
		5	39 島崎奏南
		6	40 大川佳鈴
		7	41 橋本 輝
★PM1リーダー	小3	42	本村 晏
		2	43 杉本達哉
		3	44 中邑亮太
		4	45 中村夏菜
		5	46 塩田綾乃
	小4	1	金山遼太郎
		7	2 岡崎公士朗